

常盤公園 Jサークル活動

vol. 7 【門松を飾りました】

常盤公園では、令和2年12月28日(月)より令和3年1月6日(水)までの期間、管理棟入口に門松を飾りました。門松の基本となる松竹梅をベースとして、千両、南天、隈笹は常盤公園に自生している植物を利用して作りました。写真を添えて報告いたします。



門松は、年神様がお正月に訪れるための目印や依り代として、玄関に飾られるようになった正月飾りの事です。寒い冬でも青々としている松は生命力の象徴であり、平安時代の昔から神の宿る木として神様を迎えるにふさわしいとされてきました。そもそもは平安の宮中で「小松引き」という行事があり、これが変化して門松になったそうです

門松の材料にはそれぞれ縁起の良い意味合いがあります。

今回使用した材料…

- 松…「祝る」につながる
- 竹…常の緑を保ち生命力の象徴
- 梅…汚れのない白さ
- 南天…難を転じる
- 千両…利益や富、財産
- 隈笹…は特に縁起担ぎはありませんが、熊手に似ている事から「福をかき集める」と無理やりこじつけてみました。あしからず

常盤公園 指定管理者 緑とコミュニティーグループ